

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和5年1月30日

事業所名 ワンセルフはるな

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	40%	0%	R5年4月移転となり、居室が増えます。
	2	職員の配置数は適切である	60%	40%	0%	法令を遵守し、必要とされる配置数に加え、児童指導員等を1名以上加配しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	80%	0%	R5年4月移転となり、居室内バリアフリーになります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	事業所会議でPDCAが回せるよう話し合いを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	年に一度ご意見をいただき、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	HPにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	0%	現在は行っていませんが、必要に応じて外部評価をいただきたいと考えています。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	毎月の定例会議でのミニ研修の他、年間通して研修があります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	60%	40%	0%	通所受給者証の更新、モニタリングに合わせ行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60%	40%	0%	現在、社内独自のアセスメントツールを作成中です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	40%	60%	0%	月に1度事業所会議内でプログラムの検討・作成を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80%	20%	0%	事業所会議で話し合っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	60%	40%	0%	事業所会議や委員会で話し合っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	60%	40%	0%	個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせた計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	朝礼で話合っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	0%	急を要することはすぐに共有していますが、基本的には翌朝礼時になります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	活動記録や様子報告があります。
関係機関 や保護者 との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	通所受給者証の更新、モニタリングに合わせ行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	60%	40%	0%	ガイドラインに沿ってプログラム内容の検討をしています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	児発管や管理者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	80%	20%	0%	こちらからの働きかけで共有できています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	40%	60%	0%	現在は医療的ケアを必要としている児童はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	0%	面談、担合を行っていただき共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	0%	必要があれば行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	0%	研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%	現在ありませんが、交流出来る場があれば積極的に参加したいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	20%	40%	40%	相談支援専門員が積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	送迎時や面談時にお話しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	40%	60%	0%	現在感染症の観点から休止しております。今後、感染予防対策を徹底し、再開予定です。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時にご説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	子育ての悩みに対する相談は随時対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	60%	40%	R5年度から実施する予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	ご意見等をいただいた際には迅速かつ適切に対応していくと共に、事業所内での振り返り、見直しを行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	長期休み前に行事の予定表を配布し、終了後にはお子様の様子が分かるようお便りを配布しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	書類の保管、写真等につきましては外部に漏れないよう厳重に管理しています。スタッフへは個人情報の取り扱いについて周知徹底しています。個人情報秘密保持研修を弁護士を講師に招いて全スタッフに実施しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	伝わりやすい声かけや手段を実施しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	40%	60%	感染予防対策を徹底し、今後検討していきたいと思います。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%	スタッフへは年に一度研修を行い、周知しています。保護者様へは、今後引き渡し訓練の実施を予定しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	月次、火災・地震・不審者・洪水を想定した避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	60%	40%	0%	虐待委員会を設置し、月に1度会議を行い適切な支援が行えるよう話し合い、全スタッフに周知・徹底をしています。また全スタッフが研修に参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%	組織での十分な検討を重ねたうえでご説明を行い、必要に応じて同意書をいただき、その旨を個別支援計画書へ記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%	0%	契約時にアレルギー表への記入をお願いしており、随時更新しています。事業所で共有し対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	定例会議、LINEWORKS等で周知しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。